

平成 19 年 12 月 17 日

各 位

会 社 名 アウンコンサルティング株式会社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 信 太 明
 (コード番号 2459 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員
 工 藤 典 久
 T E L 0 3 - 3 2 3 9 - 2 7 2 7

平成 20 年 5 月期 中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 7 月 9 日の決算短信開示時に公表しました平成 20 年 5 月期 (平成 19 年 6 月 1 日 ~ 平成 20 年 5 月 31 日) の中間期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 5 月期中間期業績予想数値の修正 (平成 19 年 6 月 1 日 ~ 平成 19 年 11 月 30 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,044	435	435	252
今 回 修 正 予 想 (B)	2,577	335	336	202
増 減 額 (B - A)	467	100	99	50
増 減 率 (%)	15.3%	23.0%	22.8%	19.8%
(参 考) 前期実績 (平成 19 年 5 月期 中間)	2,470	319	317	175

2. 業績予想数値修正の理由

当中間期におきましては、認知度向上等によって市場への浸透を加速させている検索エンジン最適化 (SEO) セグメントの強化を推進してまいりました。検索連動型・コンテンツ連動型広告 (P4P) においては、組織変更等の構造改革に着手し、利益率向上に取り組んでまいりました。

売上高につきましては、SEO の販売は堅調に推移しております。一方、新規事業の早期立ち上げに注力するとともに、売上高に占める割合の高い P4P につきましては、利益率改善のために利益額および利益率の低い案件の受注活動を慎重に行ったことなどから、現状では当中間期の売上高は当初計画を下回る見込みとなっております。利益面におきましては、生産性向上やコスト削減には取り組んでいるものの、上記の要因により、当初計画を下回る見込みとなっております。

早期に構造改革を完了し、高い利益率を確保できる強固な体制を構築すべく、全社一丸となって取り組んでまいります。既存の検索エンジンマーケティング (SEM) 事業、多言語ニーズへの対応に加えて、今後はモバイル分野も重要な事業ドメインととらえ、強力に推進してまいります。

なお、通期業績予想につきましては、本日同時刻に発表いたしました株式会社シリウステクノロジーから当社へのモバイル SEO 事業の譲受けによる影響等を精査した上で行いたく、前回発表 (平成 19 年 7 月 9 日) の予想数値を修正いたしません。

以上

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。